

NYマーケットレポート (2016年5月26日)

序盤に発表された米失業保険申請件数が4週間ぶりの低水準に改善したことや、米耐久財受注が2ヵ月連続で増加し、3ヵ月ぶりの高水準となったことが好感され、ドルは堅調な動きとなった。しかし、原油価格が昨年11月以来の50ドル台乗せとなったものの、その後大きく下落したことや、上昇して始まった米株価が下落に転じたことも影響し、ドル円・クロス円は一段の下げとなった。その後、値を戻す動きも見られたが、終盤まで上値の重い動きが続いた。

2016年5月26日 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	110.03	110.24	109.43
EUR/JPY	122.91	122.97	122.27
GBP/JPY	161.93	162.07	160.95
AUD/JPY	79.15	79.34	78.47
EUR/USD	1.1171	1.1190	1.1149

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	110.12	109.92
EUR/JPY	123.07	122.84
GBP/JPY	162.19	161.41
AUD/JPY	79.49	79.16
EUR/USD	1.1193	1.1167

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16772.46	+15.11
ハンセン指数	20397.11	+29.06
上海総合	2822.44	+7.36
韓国総合指数	1957.06	-3.45
豪ASX200	5388.09	+15.58
インドSENSEX指数	26366.68	+485.51
シンガポールST指数	2773.31	+6.65

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6265.65	+2.80
仏CAC40	4512.64	+31.00
独DAX	10272.71	+67.50
STX欧州600	348.91	+0.35
西IBEX35指数	9079.20	-45.80
伊FTSE MIB指数	18216.92	+15.53
南ア 全株指数	53921.00	+199.12

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	109.77	110.22	109.54
EUR/JPY	122.82	123.07	122.62
GBP/JPY	160.97	161.99	160.75
AUD/JPY	79.22	79.50	79.12
NZD/JPY	73.94	74.26	73.82
EUR/USD	1.1190	1.1217	1.1160
AUD/USD	0.7217	0.7245	0.7210

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17828.29	-23.22
S&P500	2090.10	-0.44
NASDAQ	4901.77	+6.87
日経225 (CME)	16875	-55
トロント総合	14049.20	-4.54
ボルサ指数	46039.69	+328.75
ボベスパ指数	49482.86	+137.67

5/27 経済指標スケジュール

08:05 【英国】5月GfK消費者信頼感調査
 08:30 【日本】5月消費者物価指数
 10:30 【中国】4月工業利益
 15:45 【フランス】5月消費者信頼感指数
 16:00 【トルコ】5月経済信頼感
 16:30 【スウェーデン】4月小売売上高
 21:30 【米国】1Q GDP
 21:30 【米国】1Q個人消費
 22:00 【メキシコ】4月失業率
 23:00 【米国】5月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1220.40	-3.40
NY 原油	49.48	-0.08
CMEコーン	408.25	+3.50
CBOT 大豆	1079.75	-5.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.87%	0.92%
3年債	1.02%	1.08%
5年債	1.35%	1.41%
7年債	1.64%	1.69%
10年債	1.83%	1.87%
30年債	2.64%	2.67%

5/27 主要会議・講演・その他予定

- ・オバマ米大統領が広島訪問
- ・イエレンFRB議長 講演

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 110.08 ユーロ/円 122.98 ユーロ/ドル 1.1171

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6271.32	+8.47	ダウ 先物ミニ	17853	+36
仏 CAC40	4506.86	+25.22	S&P 500 ミニ	2090.50	+3.25
独 DAX	10274.13	+68.92	NASDAQ 100 ミニ	4484.00	+9.25

出所：SBILM

21:00

＜ 要人発言 ＞

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「2016年の利上げ回数を推測しない」
- ・「世界や米国の状況に応じて利上げペースは変更可能」
- ・「米生産性の低い伸びを懸念」

21:30

＜ 経済指標の結果 ＞

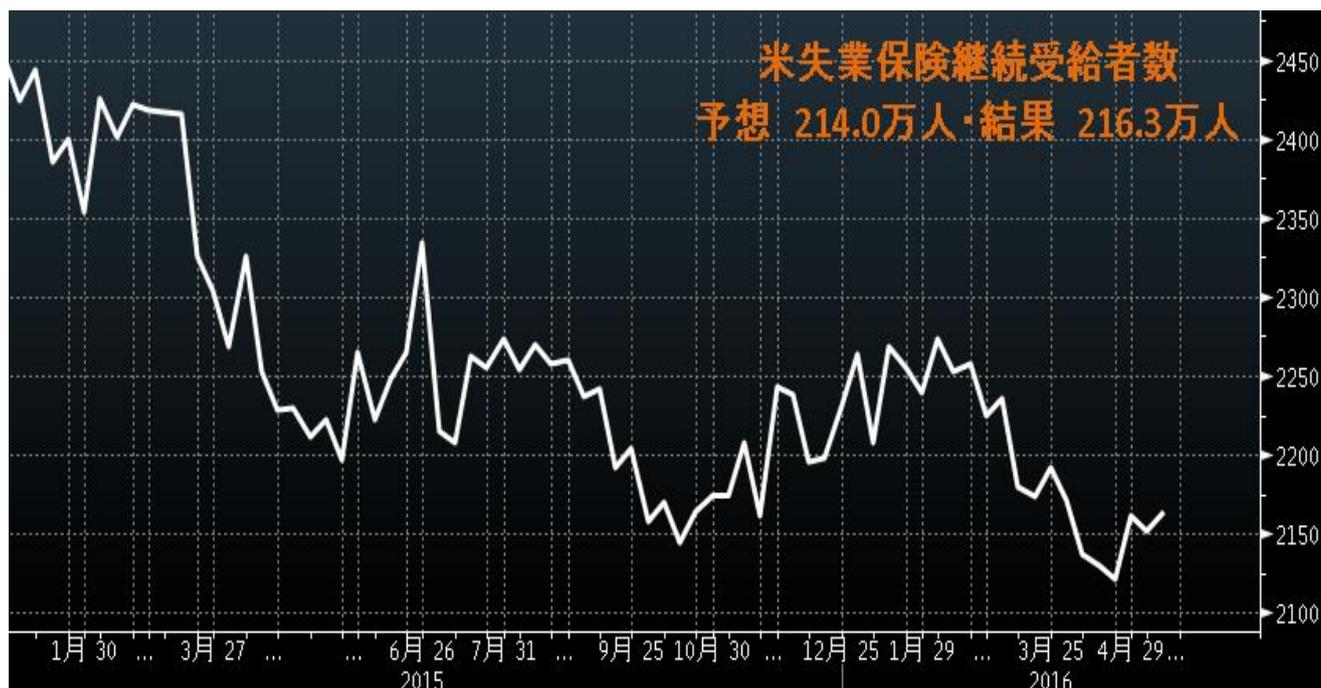
米新規失業保険申請件数 26.8万件（予想 27.5万件・前回 27.8万件）

米失業保険継続受給者数 216.3万人（予想 214.0万人・前回 215.3万人）

前回発表の215.2万人から215.3万人に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

日付	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/05/21	268,000	-10,000	278,500	*****	*****
16/05/14	278,000	-16,000	275,750	2,163,000	1.6%
16/05/07	294,000	+20,000	268,250	2,153,000	1.6%
16/04/30	274,000	+17,000	258,000	2,165,000	1.6%
16/04/23	257,000	+9,000	256,000	2,124,000	1.6%
16/04/16	248,000	-5,000	260,750	2,129,000	1.6%
16/04/09	253,000	-13,000	265,000	2,135,000	1.6%
16/04/02	266,000	-10,000	266,500	2,176,000	1.6%
16/03/26	276,000	+11,000	263,250	2,189,000	1.6%
16/03/19	265,000	+6,000	259,750	2,172,000	1.6%
16/03/12	259,000	+6,000	259,500	2,180,000	1.6%
16/03/05	253,000	-9,000	259,750	2,212,000	1.6%

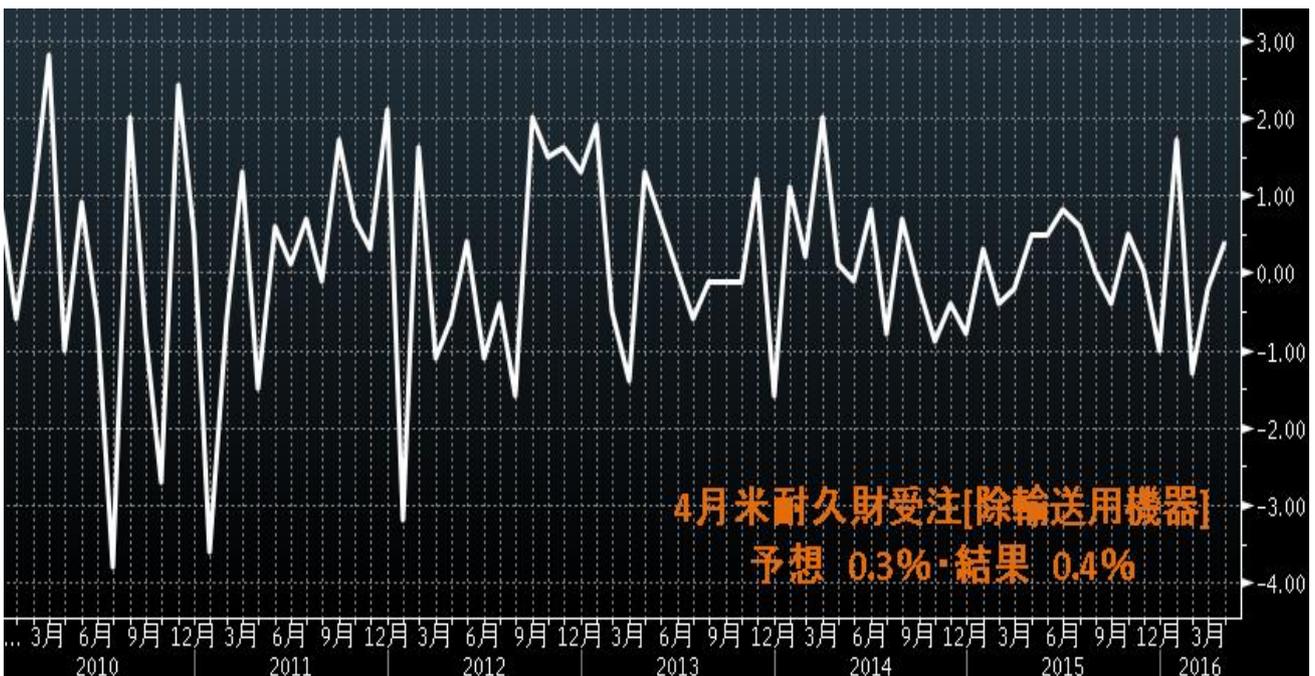
受給者数は集計が1週間遅れる

21:30

《 経済指標の結果 》

4月米耐久財受注(前月比) 3.4% (予想 0.5%・前回 1.9%)
 前回発表の0.8%から1.9%に修正

4月米耐久財受注[除輸送用機器] 0.4% (予想 0.3%・前回 0.1%)
 前回発表の-0.2%から0.1%に修正



経済指標データ
 <米耐久財受注>

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
耐久財新規受注	3.4	1.9	-3.3	3.7	-3.9	-0.9
輸送機器除	0.4	0.1	-1.5	1.5	-0.5	-1.2
国防関連除	3.7	-0.6	-2.4	3.5	-1.9	-2.4
資本財	7.2	7.5	-10.5	18.1	-17.8	-1.0
輸送機器	8.9	5.3	-6.7	8.2	-10.0	-0.2
総受注残	0.6	0.0	-0.5	0.0	-0.4	0.0
総在庫	-0.2	-0.2	-0.3	-0.3	0.3	-0.4
総出荷	0.6	-0.8	-0.8	1.6	-2.2	0.9

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17887.53	+36.02
ナスダック	4902.10	+7.21

出所 : SBILM

22 : 45

サミット宣言草案

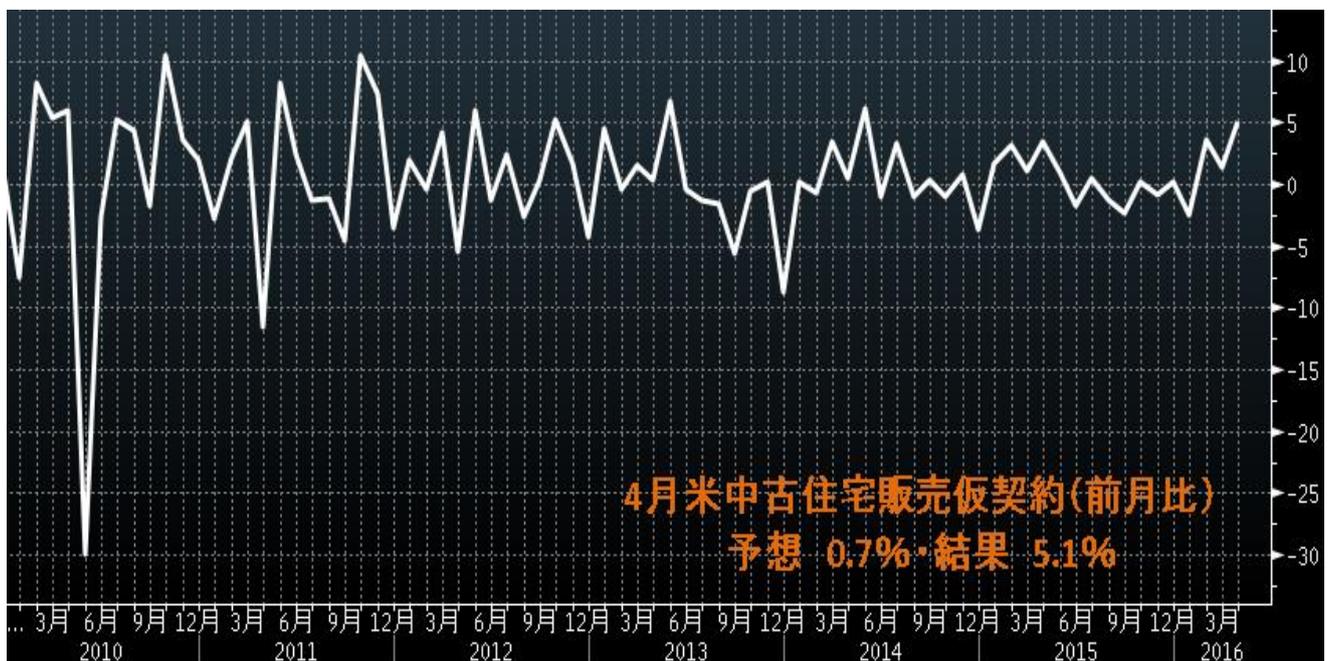
- ・「日本は危機リスクへの言及を提案」
- ・「金融政策のみではバランス取れた成長導けない」
- ・「テロや難民問題が経済環境を複雑に」
- ・「経済セクションで英国のEU離脱に言及せず」
- ・「サミット宣言草案は最終版ではなく、変更の可能性がある」

23 : 00

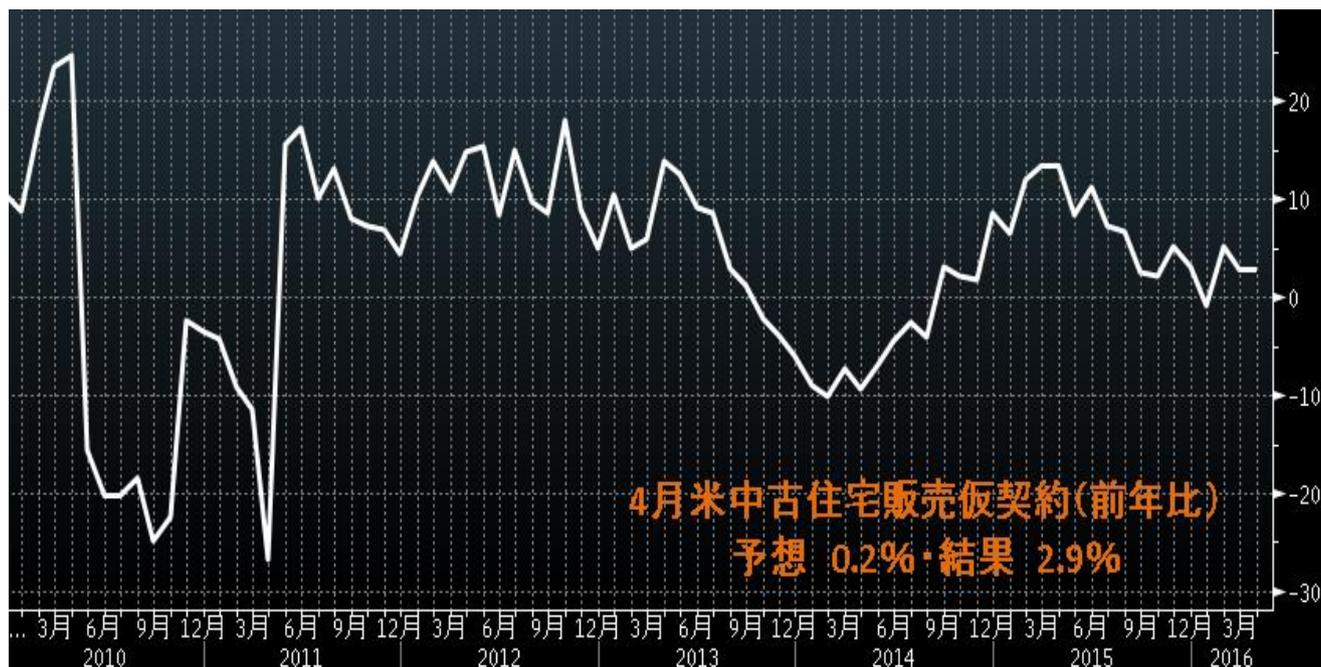
◀ 経済指標の結果 ▶

4月米中古住宅販売仮契約（前月比） 5.1%（予想 0.7%・前回 1.6%）
 前回発表の1.4%から1.6%に修正

4月米中古住宅販売仮契約（前年比） 2.9%（予想 0.2%・前回 3.2%）
 前回発表の2.9%から3.2%に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《中古住宅販売仮契約》

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
全米	5.1	1.6	3.4	-3.0	0.9	-0.4
北東部	1.2	3.2	-0.2	-3.5	5.9	-1.2
中西部	-0.6	-0.9	11.4	-4.9	0.3	1.0
南部	6.8	3.0	1.5	-0.7	0.3	0.9
西部	11.4	1.8	1.4	-5.2	-1.0	-3.5

(前月比%)

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
全米	2.9	3.2	5.0	-1.5	3.1	4.9
北東部	10.3	18.7	17.5	9.1	13.0	8.5
中西部	0.9	5.3	7.2	-0.5	2.9	7.0
南部	3.1	1.5	3.0	4.5	0.9	1.3
西部	-1.0	-5.7	-1.0	2.5	2.1	7.6

(前年比%)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米経済の先行きを期待した買いが入る一方、米早期利上げを警戒した売りが入るなど、序盤から売り買い交錯する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤前日比 37 ドル高まで上昇したものの、その後 20 ドル安まで下落した。

0 : 00

《 経済指標の結果 》

5月カンザスシティ連銀製造業活動指数 -5 (予想 -3・前回 -4)



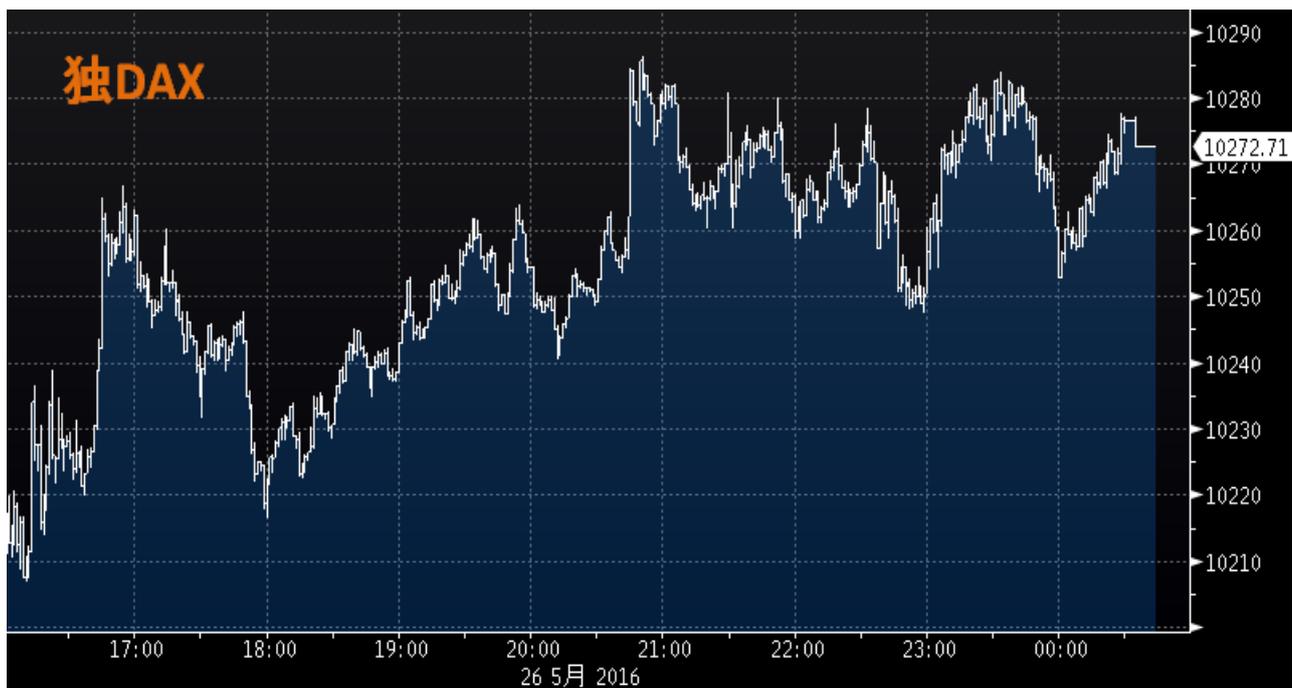
出所：Bloomberg

◀ 経済指標のポイント ▶

- (1) 米失業保険申請件数は、前週比-1.0万件的26.8万件と2週連続のマイナスとなり、4月23日までの週以来4週ぶりの低水準となった。節目の30万件は64週連続で下回っている。申請件数の4週移動平均は、前週比+2750件の27万8500件となり、1月30日までの週以来の高水準となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.0万人の216.3万人と2週ぶりに増加した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+8500人の215万1250人。受給者比率は、前週比横ばいの1.6%となった。
- (2) 4月の米耐久財受注は、前月比+3.4%の2359億4200万ドルとなり、2ヵ月連続で増加し、今年1月以来3ヵ月ぶりの高水準となった。また、金額ベースでも昨年8月以来の高水準となった。輸送機器を除いた受注は+0.4%で2ヵ月連続のプラス。輸送機器で自動車関連と民間航空機が大きく伸びたほか、輸送機器以外でも拡大したことが、全体を押し上げる要因となった。
 - ①輸送機器は+8.9%となり、自動車・同部品が+2.9%と昨年7月以来の大きな伸び、また、変動の激しい民間航空機が+64.9%、国防関連の航空機は-4.5%となった。
 - ②輸送機器以外では、電算機・電子製品が+1.9%と昨年3月以来の高水準、金属製品は+3.1%、電機・家電が+0.5%、一般機械は-1.9%となった。
 - ③資本財は+7.2%となり、資本財から国防関連を除いた受注は+7.8%、民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は-0.8%とマイナスが続いた。国防関連は+3.7%。
 - ④耐久財全体の出荷高が+0.6%、受注残高は+0.6%と2014年7月以来の高水準だった。在庫高は-0.2%と減少が続いた。
- (3) 4月の米中古住宅販売仮契約指数は、前月比+5.1%の116.3(2001年=100)と3ヵ月連続のプラスとなり、2006年2月以来10年2ヵ月ぶりの高水準となった。前年同月比では+4.6%と20ヵ月連続のプラス。
 - ①地域別では、北東部が+1.2%、南部が+6.8%、西部が+11.4%、中西部は-0.6%。
 - ②住宅の在庫水準の低さや価格の大幅な減少などの抑制要因はあるが、雇用改善の継続を受けて住宅販売は勢いが増していると指摘。
 - ③仮契約は通常1-2ヵ月以内に本契約に移行するため仮契約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。
 - ④同時に発表された4月の中古住宅販売見通しでは、2016年の販売件数が前年比+3.0%、2017年は+2.2%を見込んでいる。また、中古住宅の中間販売価格の見通しは、2016年が前年比+4.5%の23万2500ドル、2017年が+3.2%の23万9900ドルと予測した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6265.65	+2.80
仏 CAC40	4512.64	+31.00
独 DAX	10272.71	+67.50
ストック欧州 600 指数	348.91	+0.35
ユーロファースト 300 指数	1369.48	+2.71
スペイン IBEX35 指数	9079.20	-45.80
イタリア FTSE MIB 指数	18216.92	+15.53
南ア アフリカ全株指数	53921.00	+199.12

出所：SBILM



出所：Bloomberg

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17823.77 (-27.74)、S&P500 2090.61 (+0.07) ナスダック 4894.58 (-0.31)

◀ NY 債券市場・午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米 7 年債入札で堅調な需要が集まるとの期待から、買いが先行した。また、月末を控えたポジション調整の買いも入った。4 月の米耐久財受注が市場予想を大きく上回ったが、影響は限定的だった。

午前の利回りは、30 年債が 2.64% (前日 2.67%)、10 年債が 1.85% (1.87%)、7 年債が 1.66% (1.69%)、5 年債が 1.37% (1.41%)、3 年債が 1.04% (1.08%)、2 年債が 0.89% (0.92%)。

2:00

≪米財務省 7年債入札≫

最高落札利回り・・・1.652% (前回 1.634%)
 最低落札利回り・・・1.500% (前回 1.490%)
 最高利回り落札比率・・・20.25% (前回 59.85%)
 応札倍率・・・2.57倍 (前回 2.65倍)

2:00

≪ 要人発言 ≫

パウエルFRB理事

- ・「かなり近い将来利上げが適切となる可能性も」
- ・「利上げはゆっくりしたペースであるべきだ」
- ・「自身の見通し裏付けるデータが利上げの前提に」
- ・「ドルの水準、FOMCが監視する要素の一つ」
- ・「利上げ示唆で協調した取り組みはない」
- ・「FOMC政策に政治が入る余地は断じてない」
- ・「長く待ちすぎるのも、先を急ぐのも望まない」

3:50

NY金は、中心限月が前日比3.40ドル安の1オンス=1220.40ドルで取引を終了した。

4:20

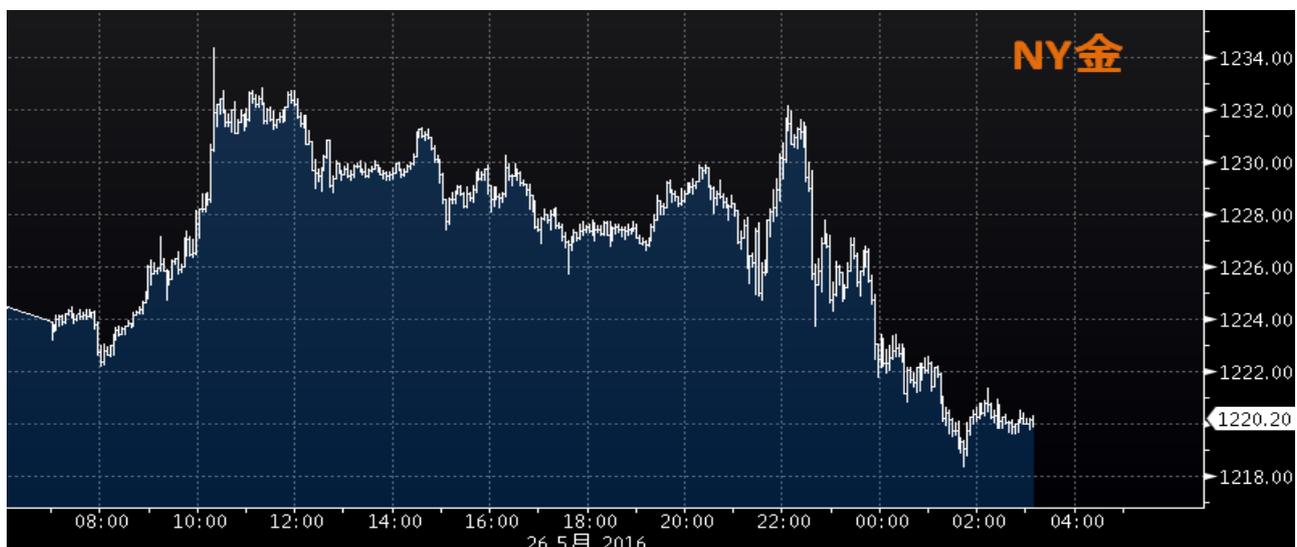
NY原油は、中心限月が前日比0.08ドル安の1バレル=49.48ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1220.40	-3.40
NY 原油	49.48	-0.08

出所：SBILM

≪ NY金市場 ≫

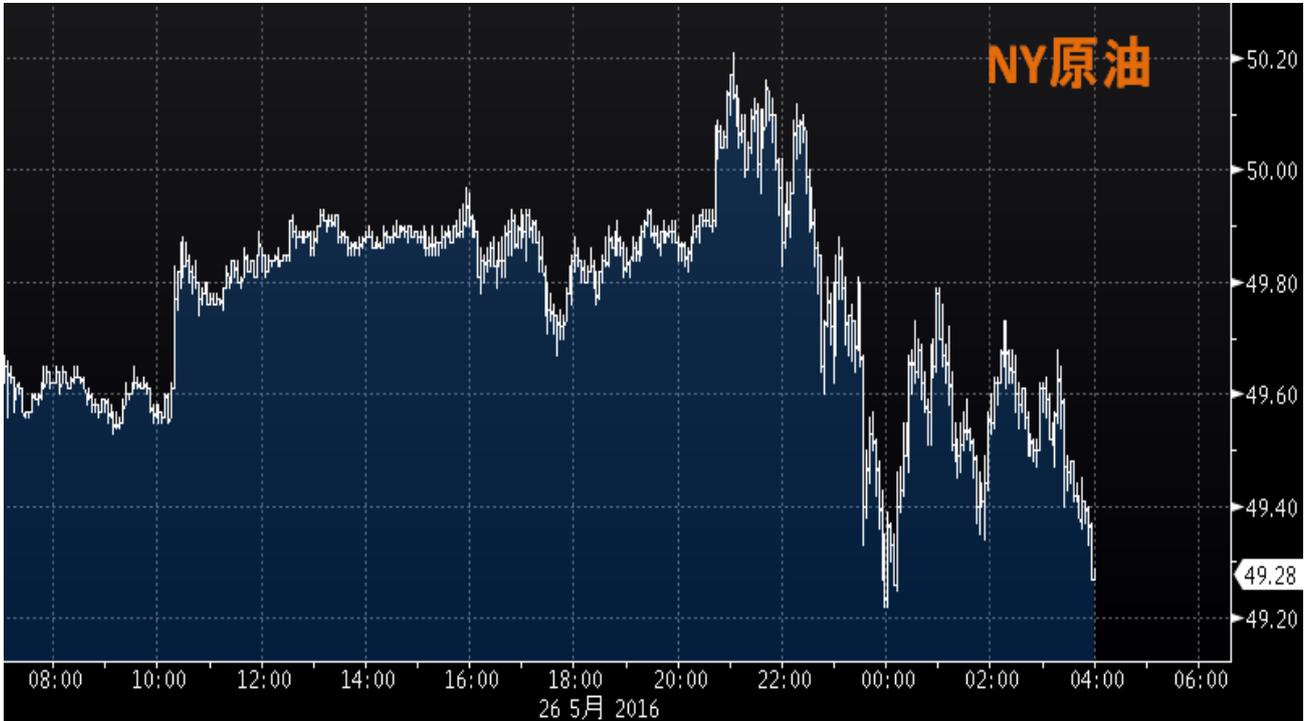
NY金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが先行した。しかし、米国の早期追加利上げ観測が引き続き圧迫要因となり、引けにかけてはマイナスに転じた。終値ベースでは、4月上旬以来、約1ヵ月半ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、前日発表の米原油在庫が市場の予想以上に減ったことが引き続き材料視されたほか、カナダの山火事やナイジェリアの石油関連施設への攻撃などで供給減少が懸念されたことが材料視され、一時昨年10月中旬以来、約7ヵ月半ぶりに50ドル台乗せとなった。ただ、買い一巡後は利益確定売りに押され、マイナス圏で引けた。



出所：Bloomberg

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17828.29	-23.22	17888.66	17803.82
S&P500種	2090.10	-0.44	2094.30	2087.08
ナスダック	4901.77	+6.87	4909.38	4887.27

出所：SBILM

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米経済の先行きを期待した買いが入る一方、米早期利上げを警戒した売りが入るなど、序盤から売り買い交錯する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤前日比37ドル高まで上昇したものの、その後は47ドル安まで下落、終盤まではマイナス圏でのみ合いの展開が続いた。



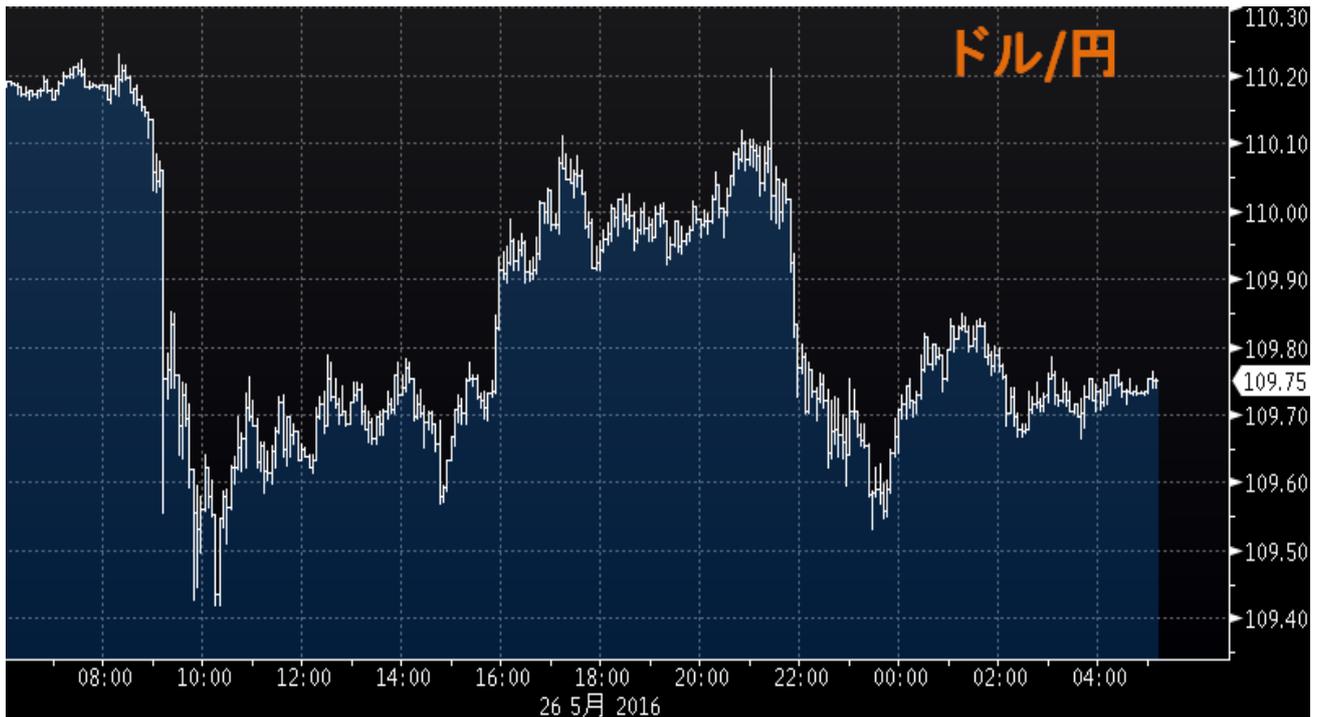
出所：Bloomberg

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	109.77	110.22	109.54
EUR/JPY	122.82	123.07	122.62
GBP/JPY	160.97	161.99	160.75
AUD/JPY	79.22	79.50	79.12
NZD/JPY	73.94	74.26	73.82
EUR/USD	1.1190	1.1217	1.1160
AUD/USD	0.7217	0.7245	0.7210

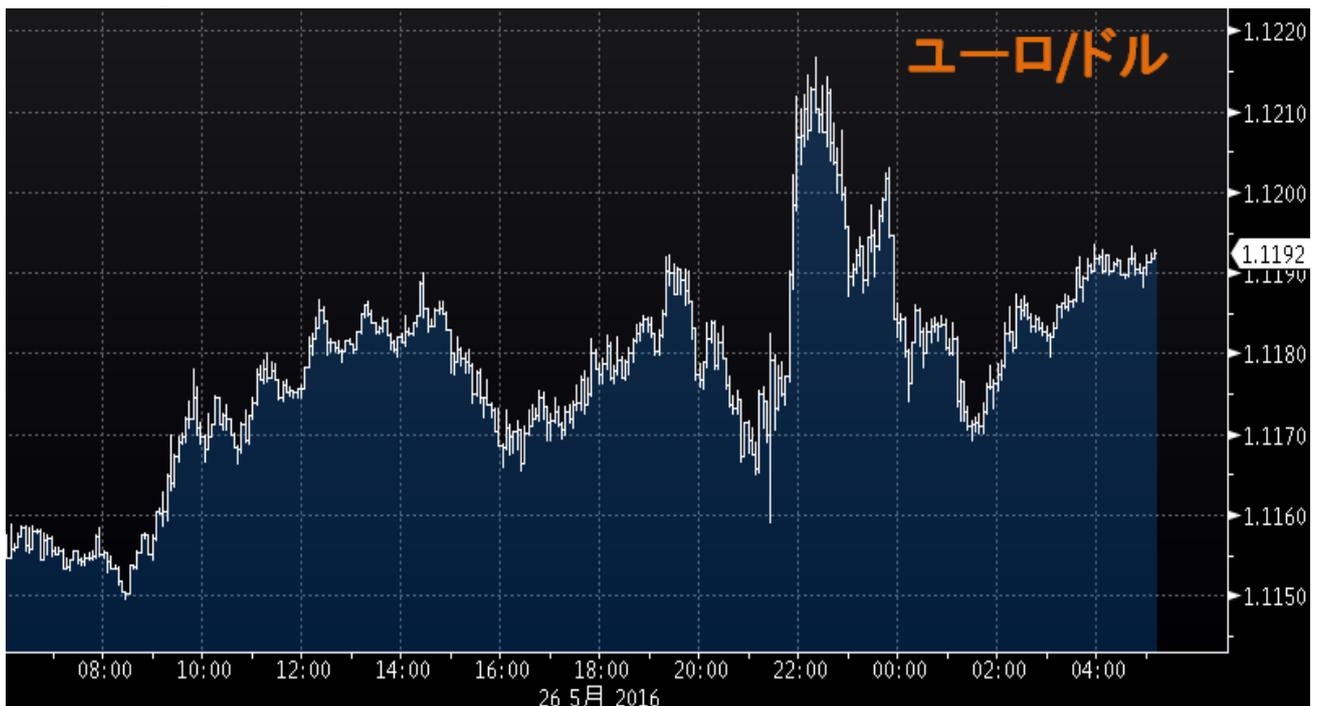
出所：SBILM

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が軒並み予想より改善したものの、上値は限定的となった。そして、原油価格や株価が下落に転じたことから円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。